

H

igh school



写真上 雪が降るメカニズムなどについて説明する「NPO法人環境保全会議あいづ」の後藤忠俊副理事長
写真下 「頑張って一緒に楽しみたいです」と話してくれた長谷川さん

温暖化 猪苗代への影響は

ふくしま県民活動支援センターが主催する「雪ワークショップ スキーは続けられるか? 地球温暖化をいなしろで考える」は2月13日、猪苗代高校で開催され、生徒たちは地球温暖化がもたらす影響などの環境問題について学びました。

ワークショップは世界選手権猪苗代大会の期間中に開催される「未来の環境共生スキーヤー育成事業」のボランティアとして参加する同校JRC委員会の生徒8人の事前学習も兼ねての開催で、講義の後には公式雪合戦の国際ルールなどについても学習しました。

「子どもが好きなので頑張って一緒に楽しみたいです」と話してくれたのは2年生の長谷川未季さん。

ボランティア期間中は、参加した子どもたちに環境問題への関心や雪で遊ぶ楽しさを伝えるため、一生懸命に頑張ってくれました。

J

unior high school



写真上 「これからも頑張ります」とさらなる飛躍を目指す吉田さん(左)と五十嵐さん(右)
写真下 2月12日、国体出場の報告に町役場を訪問。津金町長に激励を受ける

猪中生コンビ国体でも活躍

第64回国民体育大会冬季スキー競技会「トキめき新潟国体」に出場した吉田元さん(猪苗代中3年)と五十嵐訓子さん(同)に初めての国体を振り返ってもらいました。

距離少年男子で70位だった吉田さんは「周りがみんな高校生で自分より速いと思いましたが、気後れせずにレースができた。トップ選手の身体の使い方やスキーの使い方、気持ちの強さなどが勉強になりました」と話しました。

同女子で27位(中学生ではトップ)だった五十嵐さんは「今までトップに3分以上の差をつけられたことなんてなかった。全国にはまだまだ早い人がいることが分かったので、そういう人たちにも勝てるようにトレーニングしたい」と話しました。

高校へ進学してもスキーを続けるという2人にとって、今回の国体はいい経験になったようです。

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



写真上 職員の席に向かって豆を投げる子どもたち。中には集中砲火を浴びる職員もいました
写真下 見事なスローイングで豆を投げる兼子将くん(右)と、内海聖くん(左)

町から悪い鬼を追い出すぞ

猪苗代保育所(児童73人)のさくらA組の児童ら22人は2月3日、町役場を訪れ豆まきをしました。町長室に入り、津金町長から「役場の中の悪い鬼を追い出してね」と頼まれた児童らは「はい」と大きな声で返事をして出発。

自分たちで作った升に豆を入れ、鬼のお面をかぶった子どもたちは、「おにはそと、ふくはうち」の歌を歌った後、大きな声で「おにの目ん玉ぶつぷせー」と叫びながら豆まきをし、役場の中を練り歩いて、鬼を追い払ってくれました。

豆まきに参加した吾妻滯奈さんは「みんなの前では恥ずかしかったけど楽しかった。みんなも笑ってキョロキョロしてた。職員さんもニコニコ笑ってくれた。大きくて広い役場だけにおにさんはいなかった。最後にお菓子をもらえてうれしかった」とたくさん話してくれました。



写真上 5年生ながら最高記録を出し、目黒香苗賞を受賞した渡部穂高さん(長瀬)の滑り
写真下 目黒さん(右端)を囲んで楽しそうに話す長瀬小の児童ら

児童らが練習の成果を発揮

第37回野口英世博士顕彰記念町内小学校スキー大会は2月4日、猪苗代スキー場と昭和の森クロスカントリーコースで開催され、町内の5、6年生の児童ら約300人が出場し、アルペンの大回転と距離のクラシカルで熱戦を繰り広げました。

同大会では、トリノ冬季五輪バイアスロン競技に出場した目黒香苗さんにちなんで、各競技の最高記録を出した児童に「目黒香苗賞」が贈呈されていますが、今年は賞が創設されて3年目にして初めて目黒さん本人が登場し、受賞した児童を直接たたえました。

目黒さんの母校長瀬小学校の児童らは、競技が終了すると目黒さんを囲んで「野口杯の成績はどうでしたか?」「マーチングでは何をやっていましたか?」と質問攻め。目黒さんも笑いながら受け答えするなど会場は和やかなムードに包まれました。

N

ursery school

E

lementary school